

ゆのまえ 議会だより



No. 26
令和元年
5月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

未来創造で利活用



P2 特集 1

杵つき精米所が再停止

P3 特集 2

町のトップ3が相次ぎ退任

P4 特集 3

議会改革を強力に推進

P5 本会議

平成最後の本会議

P9 一般質問

鶴田(前)町長へ最後の一般質問

P14 委員会

P16 全員協議会

P18 研修

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

2012年4月14日にオープンした
杵つき精米所です。

5月から営業を停止しており、前町長
から新町長へ営業再開の課題が引き継が
れました。

未来創造による活用に向け、2度目の再
スタートを待つ杵つき精米所です。

特集 1

杵つき精米所が再停止

指定管理の運営不備を理事長認める

議会は、平成30年3月に議案「湯前町農産物加工施設（精米所）の指定管理者について」を議決。それ以降、農業公社（以降、公社）では、理事長や従業員数、事業方針などが変更されています。本来は町が公社を指導・監視する立場ですが、このチェック機能が不十分のため、議会から課題を指摘。公社の鶴田（前）理事長は、指定管理の運営不備を認め、杵つき精米所の営業停止を決定しました。

議会から指摘した問題点

① 条例との相違

湯前町農業の活性化を図る設置目的に則した運営ができていません。

【湯前町農産物加工施設の設置及び管理に関する条例】（設置の目的）第2条

加工施設は、湯前町内農家等の水稲から他作物への転作の促進及び農産物の活用による生産振興、特産品の開発、並びに都市住民との交流により湯前町農業の活性化を図ることを目的と

する。
【関連】 地方自治法 第244条の1（公の施設）普通地方公共団体は、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設（これを公の施設という）を設ける。

② 赤字運営

杵つき精米所は、公社が平成28年度に指定管理を受けて以降、マイナス収支。毎年度の計画では赤字にならない内容が示されています。

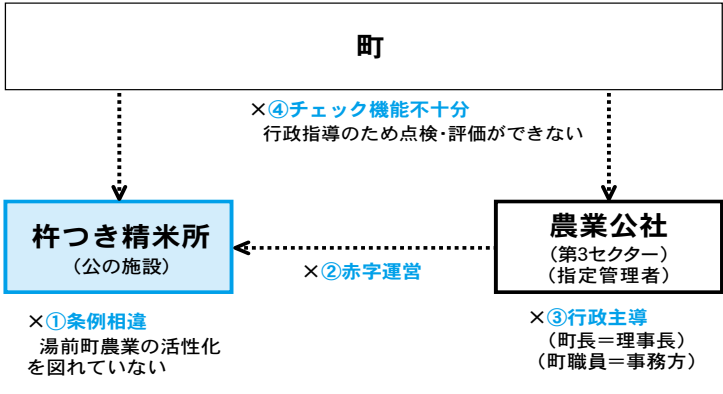
③ 行政主導

公社には「経営者」と「計画書や報告書を作成できる従業員」がいません。このため、指定管理者の実務を町職員、理事長を町長が担っています。現状の公社に指定管理を受ける経営余力はありません。

④ チェック機能が不十分

行政主導のため、指定申請書や基本協定書に基づき、町が公社をチェックすることができていません。

指定管理者（農業公社）の問題点



【指定申請書】運営方針は、本町農業の販路拡大や消費拡大を図ること。

【基本協定書第17条】公社は各年度、事業計画書を提出し、町の承認が必要。
 【基本協定書第18条】公社は年度終了後、事業報告書を各年度提出し、町の確認が必要。

【関連】 地方自治法 第244条7

【基本協定書第19条】公社に対して町は改善を勧告する。

【関連】 地方自治法 第244条10

杵つき精米所 指定管理の経緯

自然農法湯前普及会の撤退で公社が受け皿

▼平成24年上半旬 精米所完成

3月定例会で、自然農法湯前普及会を杵つき精米所の指定管理者として議決（公募によらない指定）。

【湯前町公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例】（公募によらない指定管理者の候補者の選定）第6条 町長等は、公の施設の性格、規模、機能等を考慮し、設置目的を効果的かつ効率的に達成することができると思慮するときは。



農業活性化を目的に建設した杵つき精米所

▼平成26年11月 精米所撤退
自然農法湯前普及会会長より精米所の運営撤退の申出。

▼平成27年1月 全員協議会
運営撤退を受けて、今後の対応を産業振興課で検討。

▼平成27年6月 全員協議会
町は、議会に指定管理者制度で対応する旨の説明。

▼平成27年8月 一般公募
公募したが応募なし。

▼平成27年11月 全員協議会

町は「公社への指定管理(案)」を議会に説明。

▼平成28年3月 定例会

公社を杵つき精米所の指定管理者として議決。

指定管理者の取り消し

4月4日の全員協議会で、公社の鶴田(前)理事長は、指定管理の運営不備を認め、杵つき精米所の営業停止を決定しました。議会からは、杵つき精米所の運営継続を求める声もありましたが、鶴田(前)理事長は次の町長へ託す意向でした。

特集2

町のトップ3が 相次ぎ退任

町長と教育長が最後の挨拶



中村(前)教育長の挨拶



鶴田(前)町長の挨拶

▼副町長が12月末、教育長が3月末、町長が4月末に相次いでの退任となりました。

▼5月からは、長谷町長による町政運営が始まります。

教育長の任命なし 教育長が不在の状態に

▼中村(前)教育長は、3月31日に任期が終了する予定でしたが、鶴田(前)町長からは教育長の人事案件が上程されず、教育長が不在となっています。

▼新教育委員会制度が平成27年4月から始まりました。法改正以降、教育長の任命は、町長が議会の同意を得て任命するよう変更されています。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律4条(任命)】

▼この法改正では、教育委員の任期は4年のままですが、教育長の任期は3年になりました。この理由は地方公共団体の長が4年の任期中に少なくとも1回は教育長を選任する機会を設け、首長の人事構想の中に教育長人事を位置付けやすくするためです。

▼4月から、教育長職務代理者の村井氏が教育長の仕事を代行しています。本町の教育行政を推進するには、速やかな教育長の任命が必要です。

特集3

議会改革を強力に推進

住民福祉の
向上を目指す

議会改革調査特別委員会

2月13日／3月27日／4月23日

委員長	味岡恭
副委員長	金子光喜
委員	ほか全議員

議会では、本年1月に開催した臨時議会において、改選後2回目となる「議会改革調査特別委員会」の設置を決議しました。住民福祉を向上するには、住民視点の継続した議会改革が必要です。

改革の目的	主な取組内容
住民に見える議会	<ul style="list-style-type: none"> 本会議映像の配信 近隣議会の透明化調査の実施 SNSの活用
住民が参加しやすい議会	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の開催（団体・住民） 子ども議会の開催
議会力・議員力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 議会基本条例の制定 議会防災計画の策定 ペーパーレス(タブレット導入)の推進

【近隣議会の透明性調査】 [情報：平成31年2月末時点]

	A町	B村	湯前町	C村	D町	E村	F町	G村	H村
議会だより	○ P16	○ P10	◎ P20	○ P12	○ P14	○ P18	○ P14	○ P12	△ P10
例規集	○	○	○	○	○	○	○	○	×
会議録	○	○	○	×	○	×	×	×	×
議会放送	○	○	◎	○	×	○	△	×	×
議会基本条例	○	×	☆	×	○	×	○	×	×
意見交換会 報告会	○	×	◎	○	△	×	×	×	×
議会予定	×	×	△	×	×	×	×	×	×
子ども議会	○	○	◎	×	×	×	×	×	○
SNS活用	×	×	☆	×	×	×	×	×	×
(参考) タブレット導入	○	×	☆	×	×	×	×	×	×

【凡例】 ○：実施中（◎：本町議会改革） △：一部実施 ×：未実施 ☆：取組予定

町補助金の見直しを

平成31年度予算も同額計上

▼補助金の見直しは、町長が職員によるプロジェクトを立ち上げ、現在の補助金を検証・精査するよう指示されました。それから1年半が経ち、方向性が示されたのかを質しました。

▼町長は、「プロジェクトの答申を受け民間の方々の意見を伺っている状況。各課の考えもあり結論は出ていない」と答弁。その結果、平成31年度の予算は一部を除き前年同額となっていたため、議会は早急に新町長のもとで取り組みよう求めました。

住宅リフォーム補助

補助金の検証が必要
200万円(前年同額)

▼住宅リフォーム補助金は、ふるさと納税寄附金を活用し、平成30年度から始めた3

町HPリニューアル

最小の経費で最大の効果を
874万5000円

▼町のHP(ホームページ)を本年度リニューアルします。現在のHPは平成10年に公開されています。

▼これまでの問題点は、「時系列で閲覧しにくい」「スマートフォン対応になっていない」「施設予約システムが古い」「検索しても情報が出てこない」など。

▼作業部会でHPの構成や内容を詳細に検討し、初期費用874万5000円と運用費用を抑えることが課題です。今後、プロポーザル方式で

年間限定の事業です。

▼平成30年度は、先着4件分の予算で募集を開始。2ヶ月足らずで9件の申請があり、補助金の枠がなくなりました。

▼湯前町建築物耐震改修促進計画では、本町の目標は耐震



時代に合ったリニューアルを目指す町HP

委託先を選定されますが、公募の前に作業部会だけでなく有識者にも意見を求めるよう議会から提言しています。

化率90%です。耐震化とセットにした住宅リフォームを昨年度、議会から提案しています。

空き家リフォーム補助

空き家の利活用が目的

450万円(前年同額)

▼空き家リフォーム補助金は、ふるさと納税寄附金を活用し、平成30年度から始めた3年間限定の事業です。▼平成30年度は300万円の予算を減額しました、▼町内には現在200件程の

空き家があります。老朽化が進行するにつれ、景観だけでなく近隣住民に迷惑がかかる恐れもあります。▼町当局は、空き家の利活用を目的に、更なる周知を図っていきます。



空き家バンク QR

登録物件が少ない町空き家バンク

～ご成約！～ ⑤みどり豊かで水源がある 田上地区の空き家



建物 売却 一戸建て
間取り 3K/DK/LDK
価格・賃料 要相談
築年数 昭和期
物件詳細を見る >

～ご成約！～ ①住宅と畑があります！浅鹿野地区の家



建物 売却 一戸建て
間取り 4K/DK/LDK
価格・賃料 要相談
築年数 昭和期
物件詳細を見る >

ふるさと納税の新展開

クラウドファンディングの推進

▼ふるさと納税の募集は、返礼品となる特産品に頼るばかりでなく、寄附者が応援したくなる政策・事業が考えられないか、町当局に質しました。

▼町当局は、「現在そのような政策・事業は持ち合わせていない」と答弁。議会からは以前からクラウドファンディングの推進を提言しています。

教えて議会

クラウドファンディングとは

不特定多数の人が、通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことです。ふるさと納税の仕組みの中で取り組む自治体もあります。

小学校運動部活動の社会体育移行

スポーツ教室委託料 109万円6000円

▼本年度から小学校の総合運動部クラブを「湯前さわやかクラブだんだん」が支援します。指導者は、新たに立ち上げた「だんだんコーチ部会」の9人で、人吉球磨管内では最多了。

▼今のところ、子どもたちの要望に応えながら次の種目を想定しています。

○春は外部講師を招聘してキッズコーディネーション



スポーツを楽しむ子ども達

という体幹づくり

○梅雨の時期はバレー種目など体育館内のできる種目

○7〜10月に体幹づくり

○秋口や冬の寒い時期は、陸上、バドミントン、ドッチビーなど体が温まる種目

○1月2月は体幹づくりやストレッチなどの体作り

▼社会体育への移行で、小体連主催の大会は今後なくなっていく予定です。陸上、水泳など郡の協会主催の大会は、何らかの形で残っていくかもしれません。剣道、柔道、空手は、地域の指導者がいるため継続する予定です。

庁舎の全面禁煙

規制に沿った対応を

▼本年7月から役場庁舎内での喫煙が法律に基づき規制されます。一部では敷地内全面禁煙という自治体もあります。

▼町は、JT（日本たばこ産業）と規制に沿った「屋外に喫煙所の設置」を検討しています。全面禁煙にするかは継続課題です。



計画的な積立が必要

公共施設等整備基金 2014万円4000円

▼公共施設等整備基金は、平成29年度末で4億6076万円。これに係る経費が40年間で346億円、それを65%圧縮して120億円という答弁を、以前受けています。

▼平成29年度の積み立ては約25万円、平成30年度が約2014万円。議会からは、公共施設整備基金への計画的な積み立てを指摘しています。

風疹にご用心

本町対象者397人 119万5000円

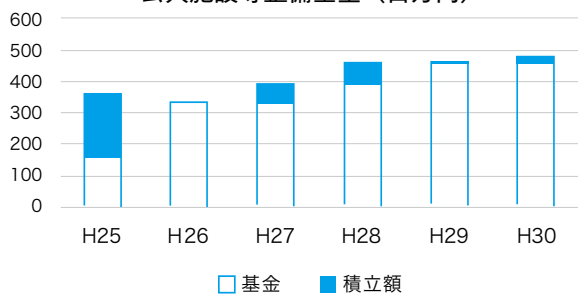
▼市町村が主体となり39〜56才までの男性に風疹（ふうしん）の抗体検査と予防接種を無料で行います。

▼風疹の抗体検査は、本町対象者397人のうち、3分の

1が検査を受けると想定し、1人7577円で90万円の予算。

▼風疹ワクチンの予防接種は、検査した人の2割24人と想定し、風疹のみが7100円、風疹とはしかを合わせたものが20人分の12200円、で約30万円の予算。

公共施設等整備基金（百万円）



議員のなりて不足
解消

報酬の見直し提案

▼本町では、財政悪化に伴い、平成16年に町長などの特別職、職員、議員の報酬・給与の一時削減を行い、議員以外は2年から5年の間で元に戻りましたが、議員は現在も削減している状況です。

▼議員のなり手不足により、全国約3割の自治体が無投票です。町村議員の報酬だけでは生活できない状況です。

▼若者世代の立候補を促すために議員報酬の見直しを提案しましたが、町長は次の行政に協議を託されました。(現在の議員報酬月額は22万5000円)

湯前町政治倫理審査委員の
任命同意

- 深水 俊市 (氏野中田3区)
- 井上 朋和 (氏瀬戸口区)
- 中武 義秋 (氏上里3区)
- 金山 充 (氏上村区)
- 右田 秀美 (氏上里3区)
- 蓑田 啓悟 (氏入吉市)

その他の主な補正予算

項目	補正額
○林業・木材産業振興施設等整備事業補助金	587万円
○町道舗装修繕工事	1700万円
○町道役場線歩道整備工事	1770万円
○町道上里古城線歩道整備工事	1100万円

その他の主な当初予算

項目	予算額
○ふるさと納税返礼品代	940万3000円
○現湯前町総合戦略検証及び新湯前町総合戦略策定支援業務委託料	573万円
○農業次世代人材投資事業補助金	375万円
○農業後継者等支援補助金	1100万円
○植木地区用水路改修工事	3600万円
○一般住宅建設工事	3100万円

条例改正

町道路線の認定

- 上京手田上線456.5m
- 中園藤木線1323.0m (17ページ参照)

議案	遠坂道太	椎葉弘樹	森山宏	黒木龍次	味噌恭	金子光喜	高橋一雄	黒木喜巳男	山下力	倉本豊	審議結果 (賛成：反対)
平成30年度(一般会計・特別会計)補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
平成31年度(一般会計・特別会計)当初予算	○	※	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(8:0)
湯前町過疎地域自立促進計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)
町道路線の認定	○	○	×	○	×	○	×	○	○	—	可決(6:3)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9:0)

○：賛成 —：採決なし(議長は採決に加わりません) ※：椎葉議員は病気入院のため欠席

鶴田(前)町長へ最後の一般質問

議会改革は進行中

4人の議員が3月定例会で一般質問を行いました。鶴田(前)町長は4月で任期満了、再出馬しないことから、最後の一般質問となりました。議会改革で取り組む『市販ビデオカメラ撮影によるYouTube(ユーチューブ)録画中継』は、6月から本格運用します。また9月定例会で湯前町議会規則を改正して本格導入した『関連質問』は、遠坂、椎葉、味岡の3議員が行いました。

関連質問とは? 執行機関に対する監査機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目	通算 質問回数※
10	金子 光 喜	①農地流動化に向けた取り組み	10 (1)
11	遠 坂 道 太	①合宿誘致の方策 ②情報化の推進	9 (3)
12	高 橋 一 雄	①補助金等の見直し ②国民健康保険	10 (2)
13	椎 葉 弘 樹	①第3セクターに対する町の関与	10 (3)
	味 岡 恭		5 (3)
	森 山 宏		2 (1)
	黒 木 龍 次		0 (0)
	黒 木 喜巳男		0 (1)
	山 下 力		0 (2) (前議長)
	倉 本 豊		2 (0) (議長)

※：数字は平成28年11月 新体制以降の一般質問回数(全10回)、括弧数字は平成30年9月以降の関連質問回数(全3回)



椎葉議員



遠坂議員



金子議員



高橋議員

前回試行した
議会録画中継

▼12月定例会で試行したYouTube(ユーチューブ)動画のQRコードです。
▼「住民に見える議会」「議会力・議員力の向上」を目指した取り組みです。
▼QRコードでアクセスできない方は、YouTubeで「湯前町議会」と検索してご覧ください。

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

議会を
傍聴しませんか



問 農地を若い後継者や担い手に集積する必要がある。対応策は

答 農地の担い手への集約は進んでいるが、分散しているのが課題

金子 光喜 議員

質問 担い手への集積と言っても担い手の定義は曖昧。現状では70歳を超えていても認められ、若者と同じ扱いをされる。10年とか20年の間には大きく減少する時期が必ず来る。どう考えるか。

課長 現状を考えれば当然想定できること、対策については、何らかの形をとっていかなければと考える。

質問 流動化を促す県の制度で、農地を貸借する場合のメリットなどの周知は、できていないように思う。現状どの程度交付されるのか。

農業委員会事務局 県の農業公社が農地中間管理機構として行っている事業に「経営転換協力金」という制度がある。条件を満たせば貸し手側に初年度のみだが10アールあたり3万5千円程の交付がある。

質問 現状ある制度では、貸し手側のメリットが少なすぎたのではないかと思う。先送りすることなく早い時期に、町の政策として流動化に本腰を入れて取り組むべき。新たな貸借を生み出す潤滑剂的な

投資は是非必要と考える。

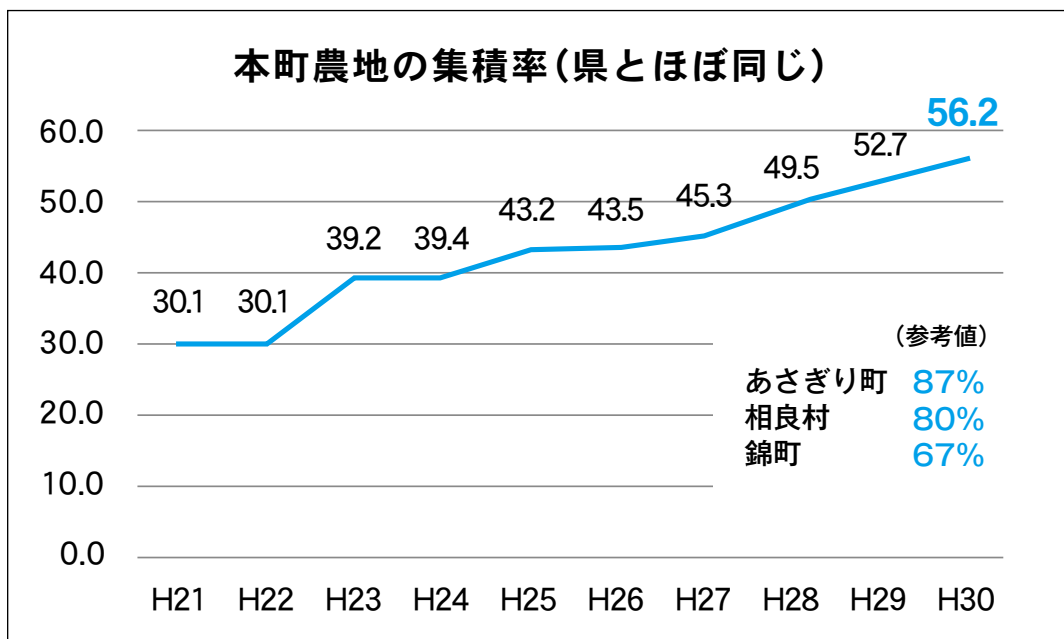
課長 調査したところ、県内には10市町村ほどが流動化に対する単独の補助金を出していた。農地の貸し手側、借り手側、双方での金額もそれぞれ違う。本町ではこれらの取り組みを検討してみる価値はあると思う。現在、農林振興課と農業委員会事務局と協力して、水路改修事業を取り組んだ地区を手始めに、役員さん方と農地集積の検討会を始めている。また、その地区の中から、本年度「農地集積加速化事業」という県の事業に取り組めないか検討している。

関連質問 椎葉弘樹議員
本件における農業公社の役割をどう考えるか。

町長 今後、担い手の方に集積を図る観点の一つ抜けていた。そのことを公社がどうしていくのかだと思つていくのかだと思つていくのか。

関連質問 遠坂道太議員
農振地の見直しはどうしているのか。

課長 平成31年度で全体見直しを考えているところ。



問 合宿誘致の方策は

答 インターネットを活用した情報発信



遠坂 道太 議員

年代別利用者数	平成 29 年度		平成 30 年度 (2 月末)	
	団体	(人)	団体	(人)
小中学生	11	289	6	176
高校生	1	27	2	46
大学生	3	182	0	0
一般	2	22	4	57
合計	17	520	12	279

種目別利用者数	平成 29 年度		平成 30 年度 (2 月末)	
	団体	(人)	団体	(人)
サッカー	5	121	3	100
ソフトテニス	1	20	1	34
剣道	1	90		
柔道	1	26		
バレーボール	1	27	1	21
野球	1	25	3	68
バスケットボール	1	52		
陸上	1	6		
その他	5	153	4	56
合計	17	520	12	279

質問 スポーツ合宿誘致の方策は。

課長 合宿棟の管理・運営については湯楽里に指定管理をしている。湯楽里においては、合宿棟 P R 用のパンフレットを作製、それを活用して、各種学校、旅行会社、キャンプ用品販売事業所など、関連の事業者への営業活動を行っている。ダイレクトメールでの営業活動の他、ホームページ、フェイスブックなど、インターネットを活用した情報発信を行っている。町においても、湯楽里との連携を図り、P R などを行っている。

質問 施設、周辺の整備計画は。

課長 危険な箇所もあるかと考えられるが、今後の検討課題とさせていただきたい。合宿棟の施設においては、建設後 40 年近く年数を要している。今回、グリーンパレス周辺の施設整備計画の中に、整備箇所として提案している。

質問 スポーツ施設の整備計画は。

課長 総合計画に示している



本町で合宿する龍谷大女子柔道部

テニスコートの整備を考えている。また、近々説明する予定である、老朽化が非常に著しいプールの整備も考えている。各施設の充実を図るという方向で進めている。

質問 弓道場で購入された土地の利活用は。

課長 御大師堂の弓道場と現在の土地の関係があるため、検討はしているが結論はまだ出ていない。

問 情報化の推進は

答 防災面での情報化の強化

質問 これまでの取り組みは。

課長 大きな項目として、高齢化医療、福祉、少子化、学校教育、産業振興と地域活性化などの目的。6次産業化の推進、ゆのまえかじりサイトの構築、学校教育の充実、オンラインの漫画授業、高齢者向けのタブレット教室、子ども向けのキッズプログラム、高齢者見守りという分野では、保健福祉課で具体化した効果があった。実施計画にも目標を持っている、インターネット加入世帯 400 世帯と言う目標を持って、現在 386 世帯となっている。

質問 今後の方向性は。

課長 自治体が行う情報化としては、住民のために活用を進めるとしたら、全国的に地震などの自然災害が発生している、防災面での情報の強化といったところにウエイトを高くすべきところなのかもしれない。

問 福祉の補助金を見直すのか

答 補助金見直し答申を受け 新町長体制で判断

高橋 一雄 議員



質問 平成16年、町の財政再建計画で町民から喜ばれていた福祉的政策の補助金が削減された。約15年たち職員によるプロジェクトチームが補助金などの見直しを答申したと聞いている。結論は出たのか。

課長 職員プロジェクトの補助金の方向性に関する答申が昨年10月に町長に答申された。まだ実行には移せていない。

質問 障がい者福祉年金などの見直しも出ている。福祉政策に関する答申は撤回するべきだ。

課長 今後、行政改革推進委員会でご意見をいただいて、新町長になってから、行政改革推進本部が平成31年度からの3年間の計画を作っていくというスケジュールと考える。

質問 全国町村長会での国民健康保険の構造的な問題点や国への要望を湯前町も共有しているのか。

町長 全国町村長会の要望は私も共有している。

質問 平成26年全国知事会では、都道府県が国保を運営する前提として公費1兆円の投入ということ为国と自民党に求めた。国保税が協会けんぽ並みになるということだ。国保では、均等割りりで1人3万2千円負担する。年収4百万円の4人世帯では、41万8千円になり、子供が増えて5人になれば、さらに国保税が上がる。しかし協会けんぽは子供が何人いても20万2千6百円だ。農家や自営業は子供が増えるたびに国保税が増えていく痛みがある。他の自治体では、均等割りの3割免除や廃止の取り組みがある。調査しているか。

課長 取り組んでいるのは財政規模が大きい市に多い。石川県加賀市では、今年度から子供の均等割り2分の1軽減が実施されるなど大きな市については、いろいろ軽減されている。

質問 小さい自治体だからこそ財政負担が小さいのではないか。最後に、子供の医療費

無料化の動きは遅れている。高校3年生までというところが増えていくが、どう評価するのか。早い時期に取り組むべきだ。

町長 段階的に取り組んできた。今後も議論の中で決定していく。





議員 椎葉 弘樹

問 農業公社と湯楽里への 適正な関与を

答 できていない部分を 今後対応する

質問 農業公社(以降、公社)の基金が底をつく場合の対応は。

町長 何をどうしていくか、どういう効果があるのかという議論をしないと今後の投資は難しくなる。

質問 第三セクター(以降、三セク)施設の改修にかかる費用の分担をどう考えているか。

町長 湯楽里自体が運用益をたくさん得ている状況であれば、その活用となる。現況は、日常的な営業が精一杯。現場は、利益を出さないといろんな修理も改修もできない意識は持っている。

質問 三セク施設の維持管理は自助努力で自立を目指すよう町が指導していく考えは。

町長 大規模改修になると、行政の手助けなしでは思うようにいかないのが現状。経営に余裕はないが、安定した経営を図るのが理想。

質問 三セク経営者の職責は充分果たすことができたか。

町長 公社は理事長を招聘したが難しかった。湯楽里も、再三社長の兼務が良いのかも協議したが、町長が社長でないとその責任も含めて難しかった。

かった。

質問 今後も町長や副町長が湯楽里と公社の社長・理事長に就く方が良いという考えか。

町長 経営手腕を振るっていただく方がいれば、湯楽里の社長は町長や副町長でなくてもよい。

質問 民間の経営ノウハウを含めた適切な知見を有する人材を広く公募すべきではなかったのか。

町長 近隣の三セクや事業体の公募で上手くいかない場合もあるため、関係性のある方でしっかりした方という思いでの選考であった。

質問 湯楽里の設立目的、地域農業再生の拠点は、どの程度達成できているか。

町長 数字的に申し上げることはできないが、食材の供給は達成できていない状況。

質問 湯楽里の設立目的「減農薬の農産物を使った健康料理の提供」は達成できているか。

課長 レストランメニューには使われておらず、減農薬栽培の方々の連携は、今のところなされていない状況。

質問 町が三セクの点検・評価を継続的に行うため、設立

目的と数値目標を明確に示していく考えは。

町長 設立目的「食の健康拠点施設」を確認しながらいくことは当然必要と思うし、湯楽里の必要性を問われたとき、明確に答えられるようにするために必要。

質問 湯楽里の点検・評価の内容があるのなら、議会に事業報告、経営状況を報告する際に添付して報告した方がよいのでは。

課長 9月議会では、単なる数値的な報告になっているのは否めない。今後は分析・評価も踏まえ、できる範囲で示したい。

質問 町長にこれまでを振り返った点検・評価は十分できていたのか。

町長 公社は、事業の目的や達成率などしっかり分析しなければいけなかった。思いが先行し現状とそぐわない部分もあった。湯楽里は、設立目的を注視できるまでには至っていないかった。

質問 三セクの事業報告は、指定管理料、経営指標、点検・評価の結果、役員数、職員数、人件費、数年分の数値データもあわせて示す考えは。

課長 ご指摘のデータはどの

場でも報告した経緯はなかった。あわせて報告したい。

質問 第三セクターの経営健全化に関する指針を本町でも策定すべきでは。

町長 取り組みをしていかなければいけない。

質問 点検・評価の情報公開、三セクの経営健全化に関する指針はいつ導入するのか。

課長 検討課題とさせていた

総務省指針

- 財政的関与
- 人的関与
- 点検・評価
- 設立目的
- 情報公開

町

湯楽里
農業公社
本町は3セクの
適正化ができていない

経済建設常任委員会

2月26日/3月12日

委員長	遠坂道太
副委員長	黒木龍次
委員	山下力、味岡恭、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。

- ◎鳥獣被害対策
- ◎県道錦湯前線の町道移管

有害鳥獣捕獲の効果大

鳥獣被害対策

- ▶本町の鳥獣被害は、鳥獣の侵入防止施設を設置後、減少しています。
- ▶現在、アナグマによる農作物の被害が多くなっています。アナグマの駆除をするために、捕獲許可権限を県から町に委譲するための手続きを行っています。

有害鳥獣の捕獲実績

(平成30年12月末時点)

- シカ 391頭 ○猪 115頭
- サル 13匹 ○カラス 96羽

鳥獣被害対策の基本的な考え方

- ①農地や集落は地域住民で守る。
- ②鳥獣被害対策の最終手段として、有害鳥獣捕獲をあわせて実施する。

農地を守る取組

- ▶平成21～22年度に設置した鳥獣被害防止施設の耐用年数は14年で、現在は鳥獣被害防止総

合対策事業を活用できていません。

- ▶その他の補助事業として、中山間地域直接支払制度を活用した集落単位での鳥獣被害防止施設の整備があります。

湯前町認定農業者同志会との意見交換会 今後の農業課題を情報共有

3月29日

認定農業者の現況

(平成30年4月末時点)

- ◎単一経営 肉用牛2件(うち、法人1件)
- ◎複合経営 52件(うち、法人4件)

担い手への農地集約・集積に係る支援

本町担い手による農地の集積率は、49.5%と年々高くなっています。

認定農業者の主な意見

- 水稻栽培だけに取り組む組織を検討
- 中山間地域26集落を統合した集落営農の取組
- 農地の集積に伴う農地振興地域の見直し
- 畜産農家の高齢化に伴う集団育成施設の検討



意見交換会の様子

総務常任委員会

2月26日/3月12日/4月16日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、味岡恭

次の所管事務を調査しました。

- ◎町の防災対策
- ◎湯楽里・グリーンパレス(以降GP)の現況

災害発生時の課題確認

平成30年度総合防災訓練

- ▶前回の防災訓練は平成26年度に実施しました。今回の訓練は、2月24日午後1時30分～4時30分の間で実施。訓練の目的は・職員の初動体制の確認・自主防災組織や消防団の初動確認・区民の安否確認。

- ▶訓練参加人数710人(内訳は、地区訓練参加537人・消防団員112人・町職員59人・婦人会1人・湯前駐在所1人)

- ▶救援物資のヘリポートは総合グラウンドです。防災拠点施設はB&Gで自衛隊が滞在します。

- ▶総合防災訓練は、「自主防災組織は消防団との連

携]、「安否確認は自主防災組織が主体」、「消防団は人命救助を優先し消火活動」という役割があります。3年に1回、間の年は自主防災組織・消防団による訓練を行います。

訓練の検証

- ▶ 災害対策本部・情報発信は対応できました。管内図とハザードマップの使分けと無線機の使用方法の再確認が必要です。
- ▶ 自主防災組織・安否確認を迅速に行う「無事ですシール」の活用が多く見られました。
- ▶ 参集時間が早すぎる地区がありました。
- ▶ 消防団・無線機使用方法(チャンネル操作)には、「無線使用は混線を避けるため人命救助の情報以外はなるべく使用しない」「消防チャンネルでの代理報告をしてもらう」などの課題があります。

▶ 防災担当・公民分館に集まった人だけの安否確認を行った地区もありました。



災害に備える自主防災組織

厚生文教常任委員会

2月21日/3月11日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。

- ◎町の体育事業の検証と今後
- ◎子ども議会

**町主催の体育行事へ5つの提言
参加しやすい大会へ**

厚生文教常任委員会では、3回にわたり「町の体育行事」に関する調査を行ないました。今回、議員各位の意見を提言としてまとめました。少子高齢化の時代に直面する今、地区住民からは参加しやすい体育行事が求められています。委員会から次の5項目を提言しました。

①目的の明確化と共有

- ▶ 「競技を推進する大会」、「多くの地区に参加してほしい大会」など、体育行事の目的を明確にして、地区住民と共有することを提言しました。
- ▶ 地区住民の中には「競技を推進したい方」、「コミュニケーションをとりたい方」、「体力づくりをしたい方」など、それぞれ参加への思いがあります。

②意向把握と公表

体育部長や分館長などから「体育行事に関する要望を受ける仕組みづくり」と、「調査結果を速やか

に公表すること」を提言しました。

③秋開催の体育行事の改善

- ▶ 「9月の球技大会」と「10月の町民体育祭」の開催間隔が短いこと、農繁期と各種行事が重なることから、地区住民の意見を踏まえた開催方法の改善を提言しました。
- ▶ 以前から「開催時期を開けてほしい」「どちらか1つにしてほしい」「交互に開催してほしい」などの意見があります。

④体育施設と体育行事の連動

「体育行事への参加」「B&Gやウォーキングロードなどの施設利用」「百歳体操」などをポイント制にして、健康づくりの地区ランキングを公表したり、地区や住民へのポイント還元をしたりすることで、健康意識の向上を図ることを提言しました。

⑤より多くの住民が参加できる体育行事

体育行事の意義や目的を明確にした上で、時代のニーズに合った住民参加型の体育行事にすることを提言しました。



参加者が多いグラウンドゴルフ

員 会
全 協 議

2月19日、2月20日、
3月7日、3月27日、
4月4日

**農業公社の継続を
合意**

議員間で意見交換

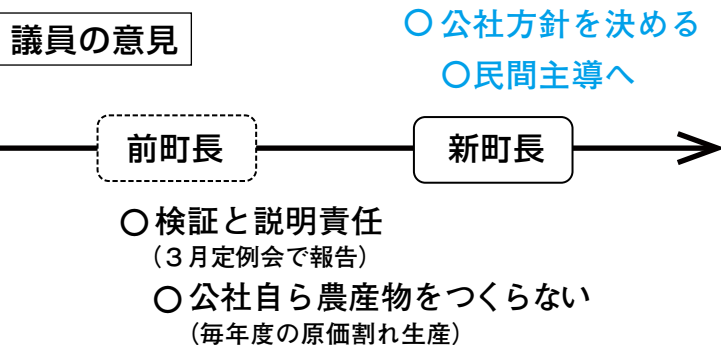
【農林振興課】

現状(3月末時点)

▼公社が借り受けている農地は8.5ヘクタール(ha)のうち3.5haは条件がよいので借り手を探します。農業委員会に地区の割り振りを依頼しています。

▼3月末に職員2人が退職。借りている農地の契約期間がある以上は管理しなければならぬため、若手の農業者にお願いできないかを調整しています。

▼公社が借りている8.5haの内訳は、田が約5.5ha、畑が約3ha。保全だけの農地



議員の意見

は、昨年度で1.1〜1.2ha。▼経営が安定しない「農業公社の今後」について、議員個人の意見を報告書で議長に提出しました。その後、議員間で意見交換を行い、公社継続を条件つきで合意しました。

人頭制から従量制へ

下水道審議会の答申

【建設水道課】

▼従量制の導入時期は未定。下水道審議会から「従量制が望ましい」との答申を受けているため、できるだけ早く対応しなければなりません。

▼あさぎり町では従量制を先行導入しており、水道メーターの水量で使用料を算定しています。井戸水を下水道に流す場合は別メーターを付けます。

▼下水道使用料の具体的な使用料は、下水道事業経営の中期長期的視点を持って算定されます。平成29年度決算では起債償還額が多く、使用料で賄うべき部分の1700万円ほどを一般会計が負担しています。5年先には人口が減り、使用料収入も減るため、見合わせながら検討します。

▼町内50戸ほどが井戸水を使用しています。例えば畜産農家は下水道以外に畜産分は放流されるため、その分は別メーターを付けるなどの課題があります。



下水道マンホール蓋が語る時代の流れ

▼下水道法上は下水道に繋がなくてはならないとされており、市町村長が認める場合は猶予することができます。未接続世帯の内訳を見ると、1人〜2人暮らしの高齢者など、家の設備投資が難しい世帯もあります。

町道と県道を移管 県道錦湯前線の町道 移管

〔建設水道課〕

▼現在の湯前町道東方線と多良木町道を活用するルートを今後県道錦湯前線として整備していきます。

▼整備理由は、防災や観光産業の面から、奥球磨地域への



事業効果を高めるためです。

▼町道東方線2.3Kmを県道に、県道錦湯前線1.3Kmを町道にそれぞれ移管する覚書を本町と県で交わしました。多良木町は昨年中に覚書を交わしています。

▼県道錦湯前線は、4月以降地元の説明会を行い、県と一緒に用地交渉を進めていきます。

今後考えられる 整備箇所



【下村婦人会前】道路拡幅と歩道整備



【瀬戸口公民館前】交差点改良



【天神様前】幅員確保

その他の協議

- ◎緑の産業再生プロジェクト
- ◎促進事業の町単独補助
- ◎平成31年度への繰越事業

教えて議会

全員協議会とは

▼本会議とは別に、協議や意見調整をしたり、議案の事前説明を受けたりします。開会中・閉会中に関わらず、必要に応じて開催します。「議員だけ」と「執行部と議員」の2つの型があります。

▼本会議中の全員協議会は、審議の調整が必要な場合に暫時休憩して協議します。本会議の機能を代替するものではないため、必要最小限にとどめます。また、本会議や委員会と同様の実質審議にならないよう節度をもって運用します。

議会の ペーパーレス化

令和元年での タブレット導入を 目指す

行政視察研修

11月29日～30日

◎議会のタブレット導入

〈福岡県嘉麻市〉

◎森林資源の有効活用とバイオマス発電の排温水を利用した産業振興(大分県日田市)

球磨郡町村議会議員研修会

2月19日

アンジェリク平安

講師…全国町村議会議長会

総務部長兼管理部長

三宅達也 先生

テーマ…「町村議会を取り巻く状況」



嘉麻市でのペーパーレス化研修

▼球磨郡9町村の研修会が人吉市で開かれました。町村議会議員、執行部ほか約130人が参加しました。

▼現状は、議会活動の一部しか住民の皆様に見えていません。

▼本町議会は、住民の理解度・認知度を高めるため、「町議会だより」や「議会中継」などの議会改革を積極的に取り組んでいます。

① 町村議会の抱える課題(町村議会実態調査)

② 最近の地方議会をめぐる動向

○ 議員報酬等のあり方 中間

報告(全国町村議長会)

○ 町村議会のあり方に関する

研究報告書(総務省)

○ 第32次地方制度調査会(内閣府)

○ 議会の機能強化および議員

のなり手確保に関する重点

要望(議長全国大会)

③ 本会議の運営における留意

④ 町村議会の活性化・取り組み

点

④ 町村議会の活性化・取り組み

み

湯前町議会では、議会改革で議員の資質や能力を高めるため、昨年度から議員個人を対象にした特別研修を設けています。議会を代表して参加し、研修成果を発表することが条件です。

議員個人の特別研修

議員	研修内容	成果発表
黒木 喜巳男 黒木 龍次	【研修内容】 議員の仕事 基礎編 [3月28日] 【会場】 福岡市	未
金子 光喜	【研修内容】 人口減少社会・防災減災と議員の役割 [3月26日] 【会場】 福岡市	未
味岡 充	【研修内容】 激動の時代の自治体病院経営 [1月31日～2月1日] 【会場】 神戸市	未
高橋 一雄	【研修内容】 市町村議会特別セミナー [11月18日～20日] 【会場】 大津市	済
山下 力	【研修内容】 大学の先生ではわからない実践的な質問のしかた [11月1日～11月2日] 【会場】 東京都	済
森山 宏	【研修内容】 議員が知っておくべき財政の話 基礎編 [10月30日～11月1日] 【会場】 東京都	済
遠坂 道太	【研修内容】 質問方法スキルアップ初級編、質問方法スキルアップ応用編 [7月19日～20日] 【会場】 福岡市	済
椎葉 弘樹	【研修内容】 議会のあり方と長との関係 [7月23日～25日] 【会場】 東京都	済

上球磨消防組合議会

当初予算の総額は7億7千万円

庁舎建設は若干の遅れ

平成最後の定例会は、2月27日上球磨消防署会議室で開催され、条例改正、補正予算、新年度予算などを可決しました。

- 【条例改正】上球磨消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正
- 平成30年度一般会計補正予算(分担金の総額から94万7000円を減額補正)
- 平成31年度一般会計予算7億7000万円
- ※本町負担分8059万8000円

庁舎建設進捗状況

約4割の進捗で、若干の遅れはあるものの、順調に進んでいます。夏頃には、建物の姿が見えるかもしれません。

〈上球磨消防議員 金子〉

公立多良木病院企業団議会

上球磨4町村で増額協議

増額の方向で協議

平成最後の定例会が3月4日に会期1日で開催されました。一般質問が2件、議案6件(平成30年度補正予算1件、新年度予算5件)を可決しました。

今後の町村負担金(一般質問の答弁より)

▶総務省が求める公立病院改革の財政基準となる目標は、「繰出基準を満たしての財政黒字化」です。今後の方向性は、本企業団の経営状況を考慮すると、構成町村で増額の協議を進めることで、医療水準の確保と維持を実現すべきとの考えでした。

▶本院に求められる「医療水準」と「財政負担」のあり方について、地域(住民、行政)の理解をえられるように検討を進めていきます。

令和元年度の当初予算と各事業の見込み

▶歳入は42億254万、歳出は44億9162万、差し引き2億8908万の損益を見込んでの当初予算編成でした。

▶病院事業は、平成30年度実績数値を勘案し、1日平均入院患者数147人、外来患者数380人。

▶老健事業は、1日平均入所者数84人、通所者数42人。

▶健診事業は、年延受診者数2万7442人。

〈公立病院議員 味岡・遠坂〉

人吉球磨広域行政組合議会

福寿荘民営化の移譲法人選定までの流れ

選定結果は7月下旬の予定

公募要項の公告	4月3日～4月26日
現地説明会・現地見学会	4月3日～4月22日
応募申し込み	4月3日～5月8日
企画提案書の提出	5月20日～6月21日
面接審査	7月上旬
選定結果の通知	7月下旬

市町村負担金の課題

令和2年度に増額

▶松岡代表理事の議案説明の中で、人吉球磨管内の財政状況が示されました。10市町村のうち6市町村の実質単年度収支がマイナスで、財政の硬直化が進み、苦しい財政状況が続いています。

▶「少子高齢化」、「人口減少」、「地域経済の活性化」などの課題に対して、財源やマンパワー不足も生じています。構成市町村と本組合における事業や施策の見直し、統廃合を進める時期にきています。

▶本組合が管理運営する施設の「老朽化対策や機械設備の更新」も大きな課題です。第3次人吉球磨ふると市町村圏計画で、令和2年度以降の市町村負担金の増額が示されました。(本町負担金は令和元年度に6267万7000円、令和2年度に7994万円)

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉



テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

テーマ 湯前町での子育て



田上区
満尾 桃子 さん

○まず感想をお聞かせください

結婚を機に湯前町で暮らすようになりました。現在、夫と子供二人、楽しく暮らしています。

湯前町の第一印象はのんびりしているところです。また、安心して保育園に預けられるところが気に入っています。

○お困りのことはありますか

一番は、自宅の周辺に用水路が多く、柵がないので、子どもたちが落ちたりしないか心配です。

他には、まだ子どもは園児なので、現時点で困っている訳ではありませんが、他町村での小・中学校給食費無料などの話を聞くと、ちょっとうらやましく感じています。

テーマ 議会への提案

○お仕事の内容は

今年で開業21年目となる「ゆのまえ温泉湯楽里」で、開業直後から社員として働いておりましたが、昨年7月より支配人を拝命しました。町民の皆様から愛される施設となるよう、現場の代表として、日々努力しています。



ゆのまえ温泉湯楽里
支配人
澁谷 紀之 さん

○ご提案はありますか

お願いになりますが、湯楽里の施設は、建設以来20年を超え、老朽化が顕著になってきており、大改修の時期を迎えています。

スタッフ一同、湯楽里建設の目的を達成するよう努力してまいりますので、町・議会の皆様のご理解とご支援をお願いします。

また、町民の皆様には、工事が始まれば大変ご迷惑をおかけすることになりますので、事前に周知したいと考えています。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111

編集後記

▶ 4月に新年度が始まりました。「元号は「令和」となり5月から令和元年が始まります。これに伴い、本年限定の祝日の制定による初めての「10連休」を謳歌された方・休めない方、さまざまでしょう。今後の仕事・生活に支障が出ないことを望みます。

▶ 本町では、新たに長谷町長での町政の船出となります。町議会も新町長と真摯に向き合い、2元代表制の

下に健全活発な議論を交わし、直近の諸事案をはじめ改善・承認に取り組みます。

▶ 「見える議会」の取組により「定例会の映像」を配信する予定です。「議会だより」もより一層「読まれる・読みたい誌面」に上げていきます。(森山)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。 委員長 椎葉 弘樹
副委員長 金子 光喜
委員 森山 宏
委員 遠坂 道太

